

何かと出会って 新たな発見

暮らしほっとワーク

—バリアフリーへのかけ橋—

平成12年度
介護講座のご案内

<介護特集>

ベッドの導入①

～ベッドの選び方～



- 福祉用具豆知識
- そこが知りたいQ&A
- 販売・リサイクルコーナーより
- お知らせコーナー
- こんなのもあるよ福祉用具

Vol.10

JUNE 2000



知識と技術を身につけて、自立支援と

1.介護研修・実習講座

1.福祉用具ふれあい講座（入門講座）

なごや福祉用具プラザの見学と福祉用具使用体験

| 時間 | 内容 |
|-------------|------------------|
| 13:30～ | なごや福祉用具プラザの概要等説明 |
| 14:20～15:30 | 見学と使用体験など |

- 毎週水・木曜日 13:30～15:30
- 対象：一般市民5～20名の団体
(人数が多い場合はご相談下さい)

2.今日から在宅介護（基礎講座）

在宅リハビリと介護のノウハウを1日で学ぶ講座

| 時間 | 内容 |
|-------------|------------------|
| 10:30～12:00 | 在宅介護の心構えと介護の実際 |
| 13:00～14:20 | 在宅介護で使える福祉サービス |
| 14:30～16:00 | 家庭でできるリハビリと介助の仕方 |

- 6月3日(土)・10月21日(土)
2001年2月17日(土) 10:30～16:00

2.専門講座

5.福祉用具セミナー

介護支援専門員などを対象に、ケアマネジメントの中で福祉用具のコーディネート方法を学ぶ

| | |
|-----|--|
| 初級編 | (1日コース) |
| | 5月12日(金)・20日(土) |
| | 6月15日(木)・28日(水) |
| | 7月4日(火)・19日(水)・10月20日(金) 11月7日(火)・12月7日(木) |
| 中級編 | (3日間コース) |
| | 1期:6月7日(水)・8日(木)・9日(金) |
| | 2期:7月11日(火)・12日(水)・13日(木) |
| | 3期:8月3日(木)・4日(金)・5日(土) 4期:2001年1月17日(水)・18日(木)・19日(金) |

- 対象:ケアマネージャーなど
- 定員:25名



詳しくは、なごや福祉用具プラザへ
お問い合わせ下さい

TEL (052)851-0051
FAX (052)851-0056

6.住宅改造講座

障害者・高齢者が暮らしやすい住まいづくりや、住宅改造などで留意すべきポイントを学ぶ

(1日目)

| 時間 | 内容 |
|-------------|----------------------|
| 10:30～12:00 | 日常生活動作の知識 |
| 13:00～15:30 | 家屋構造の知識と見取り図の読み方・書き方 |
| 15:40～16:50 | 福祉用具の知識 |
| 17:00～17:30 | 改造プランニングの説明 |

(2日目)

| 時間 | 内容 |
|-------------|---------------|
| 10:00～12:00 | 改造プランの作成 |
| 13:00～14:20 | 改造プラン発表、検討と討論 |
| 15:40～16:30 | 福祉制度 |

●日程

1期:6月10日(土)・11日(日)

2期:7月1日(土)・2日(日)

3期:10月14日(土)・15日(日)

●対象:① 在宅介護支援センターの職員の方、
ケアマネージャー等福祉用具に関する
業務を行う方

② 福祉用具の供給・製造業者

●定員:24名(先着順)

介護負担の軽減を考えていきましょう！

3.介護レッスン（介護講座）4回シリーズ

現在介護をしている方が、ちょっとした工夫や介護技術を学ぶための分野別講座

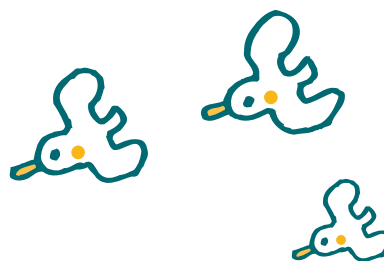
| レッスン名 | テーマ | 内容 |
|-------|--------|------------------|
| レッスン1 | 移動と移乗 | 動作の介助、ベッドからの移乗など |
| レッスン2 | 食事と排泄 | 排泄の介助、食事の介助など |
| レッスン3 | 体の清拭 | 体の拭き方、床ずれ予防など |
| レッスン4 | 住まいの工夫 | 暮らしやすい住まいなど |

- 第1期:6月24日・7月15日・22日・29日（毎回土曜日）
- 第2期:11月4日・11日・18日・12月2日（毎回土曜日）
- 第3期:2001年2月24日・3月3日・10日・17日（毎回土曜日）
- 時間:毎回13:00～16:00
- 対象:高齢者・障害者のご家族など
- 定員:20名／人数状況により単発参加可能

4.福祉教育実践指導者養成研修

ノーマライゼーションのあり方を考える（2日間コース）

- 第1期:7月27日（木）・28日（金）
- 第2期:8月1日（火）・2日（水）
- 第3期:8月26日（土）・27日（日）
（両日とも10:00～17:00）
- 対象:小・中・高教員
- 定員:30名



3.特別講座

7.褥そう予防とその効果

褥そう予防の実際と用具のアセスメントを学ぶ

- 日程:11月下旬予定
- 対象:施設、在宅福祉、医療関係者
- 定員:30名

8.排泄障害と排泄関連用具

失禁の原因とその対策について学ぶ

- 日程:10月上旬予定
- 対象:施設、在宅福祉、医療関係者
- 定員:30名

9.移乗

ベッドから離れて生活するための、移乗方法について学ぶ

- 日程:2001年1月開催予定
- 対象:医療、施設関係者
- 定員:30名

10.コミュニケーション講座

同時開催:コミュニケーション機器展

コミュニケーション機器の普及や導入方法についての講演会とワークショップ

- 10月28日（土）:講演会
- 10月29日（日）:ワークショップ
- 対象:一般市民、医療福祉関係者など

11.自助具・被服・パソコン講座

技術ボランティアの育成とネットワーク作りのための用具製作・改造講座

- 日程:2001年1月20日（土）・27日（土）
2月3日（土）・4日（日）
- 対象:ボランティア希望者、医療福祉関係者など
- 定員:30名



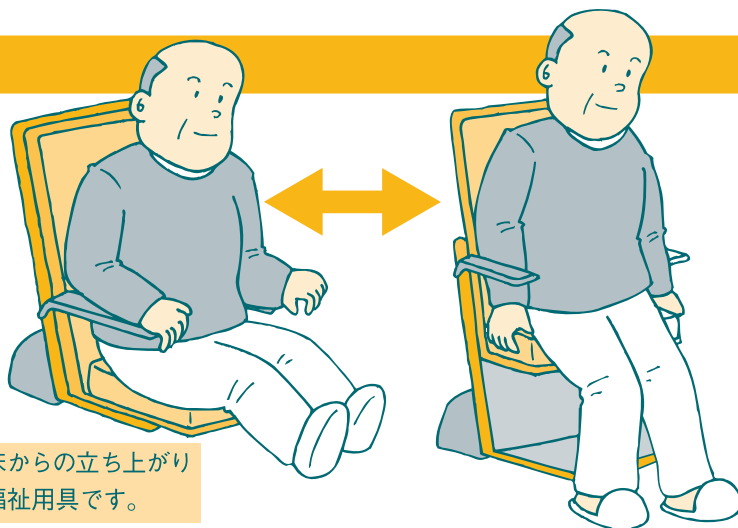
ベッドの導入 ①

ベッドの選び方

床からの立ち上がりが難しい方にとっては、ふとんよりベッドの方が、腰掛ける、立ち上がるといった動作がとりやすい場合があります。また、介護者の負担をベッドの導入で軽減することもできます。

ベッドを導入する前に

障害を持った方すべてが、ベッドの生活が良いというわけではありません。這ったり座ったまま移動することができる方にとっては、畳の生活のほうが生活空間が広がることもあります。



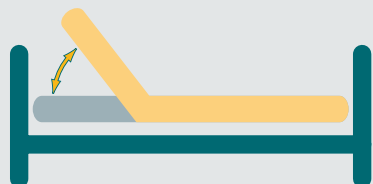
●立ち上がり座いすは、床からの立ち上がりや床に降りるのに便利な福祉用具です。

ベッドの機能と種類

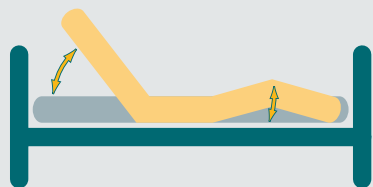
ベッドには電動式と手動ハンドル式があります。本人も介護者も容易に操作できる電動ベッドがおすすめです。

●電動ベッドの機能

●背上げ機能



●背上げ、膝上げ機能



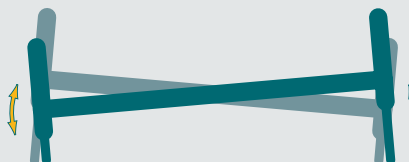
背上げと膝上げが連動して動く機種と背上げと膝上げが個別に動く機種があります。

●高さ調節(ハイロー)機能



一部のベッドは斜めや円弧状に昇降しますので、壁などにぶつからないように配慮する必要があります。

●ティルト機能



頭側、足側のベッド面の高さを個別に調整することができます。

●電動ベッドの種類

電動モーターがいくつあるかによって、以下のように分かります。

●1モーターベッド

背上げ機能の付いたベッド
背上げ、膝上げ連動の機能の付いたベッド

●2モーターベッド

背上げ、膝上げ連動の機能と高さ調節機能の付いたベッド
背上げ、膝上げが個別に動く機能の付いたベッド

●3モーターベッド

背上げ、膝上げが個別に動く機能と高さ調節機能の付いたベッド

●4モーターベッド

背上げ、膝上げが個別に動く機能と、ティルト機能が付いたベッド

豆知識

背上げと膝上げが連動して上がるベッドは、膝の上がるタイミングが遅いため、体が足元にずり落ちやすくなります。3モーターベッドは、背より先に膝を上げることができるので、体がずり落ちにくくなります。



●三角クッションなどでお尻が滑らないようにする方法があります。

ベッドの選択

●寝返りや起き上がりができる方

ベッド上で寝返りをうって、肘をつくことのできるだけのマット幅が必要になります。

●起き上がりがたいへんな方

背上げ機能の付いたベッドが体を起こすのに便利です。

●立ち上がりがたいへんな方やベッド上での介護の必要な方

高さ調整機能の付いたベッドが、ベッドから立ち上がるのに体重移動がし易く便利です。また、介護する方の腰への負担も軽減することができます。

●ベッド上で背を上げた姿勢をとることが多い方

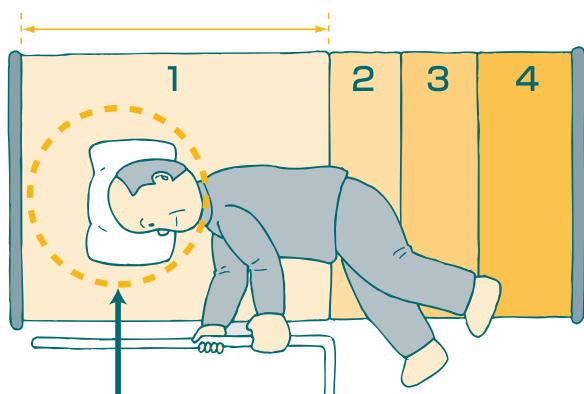
背を上げて体が足元にすり落ちないように、膝だけを単独に上げることのできるベッドが便利です。

豆知識

ベッドの背上げを起こしたときに生じる身体とマットレスの間のすれは、圧迫感となって、姿勢のくずれや床ずれの原因になります。この圧迫を除去するためには、背中をベッド面から一旦離したり、背中とマットレスの間にスライディングマットを敷いたりします。

ベッドのボトム(底板部分)のサイズ

ベッドのボトムは、背上げと膝上げをしたときに、4つの部分に分かれます。



●1枚目のボトムが長すぎる場合

ベッド用手すりを使用した場合、手すり部は1枚目と2枚目のボトムの継ぎ目の位置になります。したがって、1枚目のボトムが長いと枕の位置が足元よりになります。



●2枚目と3枚目のボトムが長すぎる場合

体が足元にすり落ちて、背中とマットレスの間にすき間ができます。肩や背中が圧迫されて苦しい姿勢になります。

豆知識

ベッド上で背中を起こした姿勢を指して「座っている」と言うことがあります。しかし、この姿勢では通常の座った姿勢のように足に体重が乗ることがなく、次の動作に移るような活動的な姿勢をとることができません。したがって、ベッド上で背中を起こした姿勢は、座った姿勢の範疇に入りません。



福祉用具 豆知識



排泄①少～中量の尿漏れ対策

普段は下着のパンツを濡らす程度の方でも、ちょっとした遠出や外出の時は心配ですよね。バスや車の乗降りなどで、思いかけずたくさんの尿漏れをして外出が心配…という方にも安心して外出できるようなアドバイスです。

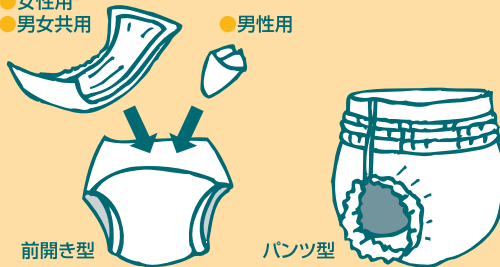
①少しの量ならば、下着や専用パンツに尿パッドや布製の尿取りパッドを併用する方法があります。

- 女性用
- 男女共用
- 男性用



②ちょっと多くの尿漏れがあるかな？と感じていらっしゃる方…尿量をしっかり吸収してくれるパンツ型オムツや、さっと尿パッドを交換できる前開き型ショーツをお勧めします。

- 女性用
- 男女共用
- 男性用



※尿パッドや紙おむつは、男女兼用タイプ、男性用、女性用タイプに分かれている商品がありますのでご注意ください。また、吸水量も少～多といろいろあります。プラザ職員へお問い合わせ下さい。

「歩いたり、走ったりすると尿漏れがする」「大声で笑ったり、重いものを持つと尿漏れがある」「トイレに行く間に漏れてしまう」「尿意がなくて漏れている」などは、加齢に伴い現れる症状ですが、ご心配な方は一度『失禁外来』や『泌尿器科』などのある医療機関でご相談下さい。治療により改善することも少なくありません。



シリーズ **そこが知りたいQ&A** ?

介護保険制度で福祉用具の「レンタル」と「購入」ができます！
～要介護認定で「要支援」または「要介護」の認定を受けた方が対象となります～

| レンタル対象用具 | 購入対象用具 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①車いす ②クッション、電動補助装置等 一定の車いす付属品 ③特殊寝台 ④マットレス、サイドレール等 一定の特殊寝台付属品 ⑤褥創予防用具 ⑥体位変換器 ⑦手すり ⑧スロープ ⑨歩行器 ⑩歩行補助用具 ⑪痴呆性老人徘徊感知機器 ⑫移動用リフト(吊り具を除く) | <ul style="list-style-type: none"> 入浴のための用具で指定されているもの ①入浴用いす ②浴槽用手すり ③浴槽内いす ④入浴台 ⑤浴室内すのこ ⑥浴槽内すのこ ⑦簡易浴槽 ⑧移動用リフトの吊り具 排泄のための用具で指定されているもの ①腰掛け便座 ②特殊尿器 |

<ご注意下さい>

- 費用負担は、レンタルは「レンタル料の1割」、購入は「購入価格の1割」です。
- レンタル料は、介護保険給付額（ケアプラン中）に含まれます。また、都道府県が指定した「指定事業者」以外からのレンタルは介護保険の適用を受けません。担当のケアマネージャーにご相談下さい。
- 購入は介護度に関係なく10万円(自己負担1万円)を限度額とし、毎年4月から翌3月までの年度単位で支給されます。購入時に一時全額負担となりますが、領収書等を市区町村に提出すると、後に自己負担分を引いた9割が還付されます。購入の指定業者はありませんが、やはり購入前に担当のケアマネージャーにご相談下さい。
- 購入対象用具以外の用具を購入するときは、介護保険が適用されず全額自己負担となります。

適切な用具の選択のために、プラザ職員がご相談に応じます！お気軽にお問い合わせ下さい

お知らせ コーナー

住宅改修のご相談承ります

高齢者のすまいに対する期待は、
！自分が長く生活してきた場所
にそのまま住み続けたい”住

み続ける事により近隣との交流を図りたい# たえ身
体が不自由になっても自宅で生活をしたいといったこ
とがあります。しかし、それまで住んできた住宅で老
いることを困難にしている原因も多くあります。

(1) 構造上の問題

- ①上がりかまちや廊下と各部屋の間など段差が多い。
- ②特にトイレ、浴室など室面積が狭い。

③尺貫法に基づいて設計されてい
るので廊下、階段、開口部など
の幅員が狭い。

④立ちあがりの負担の大きい和式
の生活様式である。

生活動作がひとりできなくな
った場合は、上記の改善や福
祉用具の活用をしていくことが
必要です。

(2) 介護保険制度の住宅改修の 種類

介護保健制度では、要介護度
に関係なく20万円の住宅改修
費が支給されます。

- ①てすりの取り付け
- ②床段差の解消
- ③すべりの防止、移動の円滑化等
のための床材の変更
- ④引き戸等への扉の取り替え

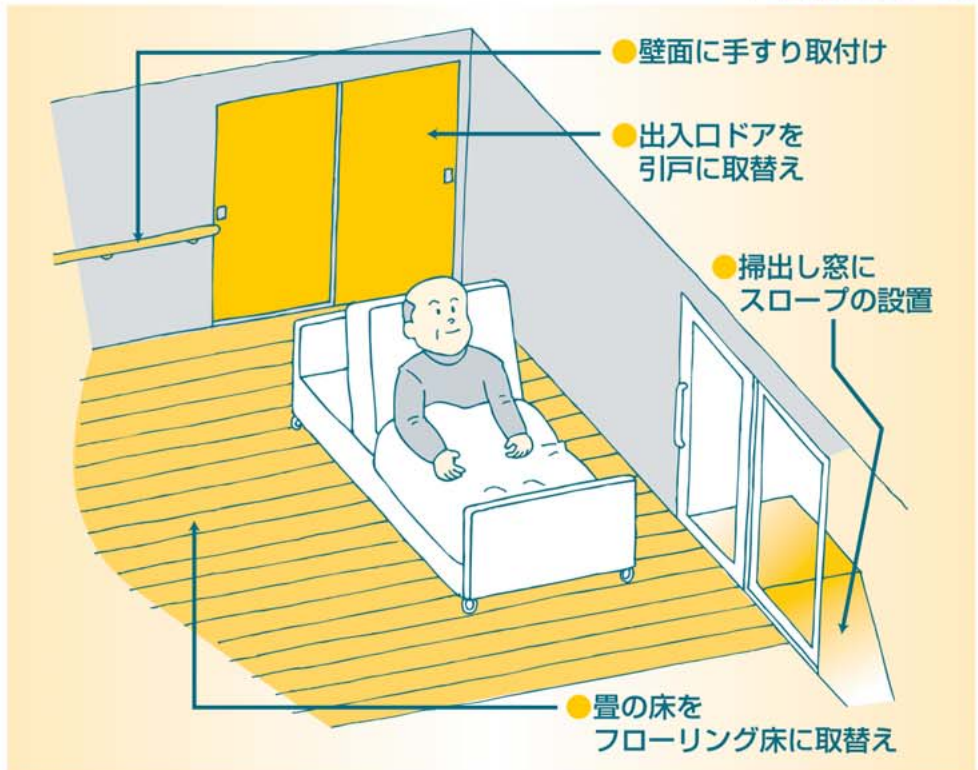
- ⑤様式便器等への便器の取り替え
- ⑥上記の各工事に付帯して必要な工事

(3) 高齢者住宅改修相談

なごや福祉用具プラザでは、高齢者の方の身体状況や家屋
構造、保健福祉サービスのご利用状況に応じて、住宅改修の
ご相談をお受けします。必要に応じて、ご自宅を訪問しての
家屋調査も行い、より適切なアドバイスをさせていただきます。
また、住宅改良が円滑に行われるように、関係機関との連絡
調整も行っています。

ご要望のある方は、担当のケアマネージャーとご相談の上、
ぜひお越し下さい。

▼ 住宅改修の一例



販売・リサイクル コーナーより



不要になった“電動ベッド”や“車いす”などを譲りたい
方や、制度の対象とならず費用の負担が高額で入手しにくい
方の情報（譲りたい・譲って）を収集し、コーディネートし
ています。ぜひ、ご利用下さい。

[これまでの主な取り扱い商品]

電動ベッド・エアーマット・入浴用いす
ポータブルトイレ・歩行器・シニアカー・電動車いす
段差解消機・リフトなど

[介護保険で福祉用具はどうなるの・・・?]

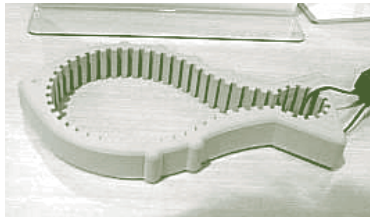
4月から介護保険導入に伴い、制度を利用される方で「ど
こに聞いたらいいの？」また「手続きはどうしたらいいの？」
等、お困りの方はいらっしゃいませんか。私たち『リサイク
ル相談事業部』では、介護保険の制度をわかりやすく説明す
ることは勿論のこと、レンタルや販売についてもご相談に応
じています。さらに、お客様のニーズに応えられるケアマネ
ージャーや信頼のおける販売業者をご紹介します。ぜひとも
『リサイクル相談事業部』をご利用下さい。

●詳しくはA J Uリサイクル相談事業部へ
TEL052-851-0059 FAX052-851-0159

こんなものもあるよ福祉用具

(1)らくらく瓶あけフタアッキー ¥950

左右(大小)どちらの輪も瓶のふたにつけて回すことができます。直径15~100mmの大きさのふたに使用できます。ゴム製ですべりにくく、力の弱い方も開けやすくなります。



いずれも、なごや福祉用具プラザ
(052-851-0051)の展示品で購入が可能です。

(2)ボトルオープナーC ¥800

ふたにかぶせて回すゴム製のふたあけ器です。片マヒの方は、すべり止めマットを敷いた上で使用すると、片手でも瓶を開けることができます。



特別展開催のご案内

ウェルフェア2000

5月26日(金)・27日(土)・28日(日)

最先端の福祉関連機器を紹介する中部地区最大規模の展示会です。

●多数のご参加を得て終了しました。

いす・車いす展

2001年1月開催予定

国内外最新の「いす」や「車いす」の展示会です。

福祉機器コンテスト作品展示

8月29日(火)~9月3日(日)

リハビリテーション工学協会での福祉機器コンテスト2000の入賞作品を展示します。

コミュニケーション機器展

10月27日(金)・28日(土)・29日(日)

コミュニケーション機器(身体障害者、視覚障害者に対応した呼び出し装置など)の展示会です。

人に優しいシンポジウム(仮称)
(人に優しい街づくりネットワーク、E&Cプロジェクト、技術ボランティア、なごや福祉用具プラザ)

11月25日(土)

街づくり、共用品、共用サービス、福祉用具のさらなる発展を目指したシンポジウムです。

自助具フォーラム2000

11月26日(日)

全国の製作ボランティアグループの交流会です。



社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通3丁目12-1
御器所ステーションビル3F

TEL (052) 851-0051

FAX (052) 851-0056

電子メール nrc4@japan-net.ne.jp

ホームページ <http://www.japan-net.ne.jp/~nrc/plaza/>

●営業時間/AM10:00~PM6:00

●営業日/火曜日~日曜日

●休業日/月曜日・祝日・年末年始(月曜日が、祝日にあたる日は翌日も休業になります)



この広報誌は再生紙
(古紙配合率100%)を
使用しています

暮らしほっとワーク第10号

発行日/平成12年6月15日

編集・発行/なごや福祉用具プラザ

